

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	頁
	企画総務課	区役所フロアマネージャー設置事業 (北区)	3,520	3,520	1
	企画総務課	区域まちづくり事業(北区)	34,106	34,106	3
	自治推進課	地域安全推進事業(北区)	8,054	8,054	7
	自治推進課	自治会活動推進事業(北区)	62,408	62,033	9
北保健福祉総合センター	北保健センター	介護予防普及啓発事業(北区)	3,011	3,011	11
北保健福祉総合センター	北保健センター	健康都市づくり関連事業(北区)	650	650	13

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
	事務事業名	区役所フロアマネージャー設置事業 (北区)	事務事業分類
担当部署名	北区役所	局	部
		事業番号	216-002
		企画総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	無		現状値	—	目標値	—	
			ゴール	—	ターゲット	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	取組	—		
無							
寄与するKPI		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	無
3	事業開始年度	平成 18 年度
		点検年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	無

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	区役所来庁者 (北区住民 約16万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	フロアマネージャーの設置により、市民満足度の向上を図り、「より親切・便利な区役所」の実現を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>来庁者に積極的に働きかけ、きめ細かいサービスを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者の目的窓口への案内・同行 ・区役所周辺の施設・交通機関等案内 ・区役所行事等案内 ・車椅子・ベビーカーの貸出 ・高齢者・障害者等の介助 他
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	新日本機動警備株式会社 (令和3年度委託事業者)
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定) 区役所来庁者に対するアンケート (フロアマネージャーの案内のわかりやすさ)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				目標値	80	80	80	80
				実績値	0	67		
		達成率	0%	84%				
	当該指標を選定した理由	本事業は、単なる窓口案内サービスだけでなく、市民満足度の向上を図ることについても目的としているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度目標値を基準とする。						

12	活動指標(成果を上げるための手段) 対応件数 (窓口への同行案内、車いす・ベビーカーの貸出など)	単位		実績	実績見込み	目標			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				目標値	38,000	38,000	38,000		
				実績値	42,291	38,000			
		達成率	111%	100%					
	当該指標を選定した理由	区役所来庁者に対しての案内を主目的とした業務委託を実施しており、その費用対効果を図るに当たり、一定数の対応件数が求められるため。							
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度目標値を基準とする。							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	区役所フロアマネージャー設置事業 (北区)	事業番号	216-002
-------	-----------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			2,376	2,507	2,530	2,530	3,520
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	2,376	2,507	2,530	2,530	3,520

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		区役所フロアマネージャー業務	R3	予算	2,530	2,530		R3	予算		
			R4	予算	3,520	3,520		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R3まで	平成18年4月 区役所設置と同時に全区にフロアマネージャーを設置。
16 R4	業務のあり方及び実施手法等について検討し、市民満足度の向上を図る。
R5以降	業務のあり方及び実施手法等について検討し、市民満足度の向上を図る。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	フロアマネージャーによる案内は、「より親切・便利な区役所」の実現を図るために必要な事業である。フロアマネージャーから来庁者に声をかけ、積極的な案内を行うことで、より市民サービスを向上させるための予算を要求する。
------------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	区域まちづくり事業 (北区)		事業番号	216-006
担当部署名	北区役所	局	部	企画総務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
		寄与するKPI	有・無	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
			有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画		北区みんなのまちビジョン				
3	事業開始年度		平成 28 年度		点検年度		令和 5 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	区、地域団体、区民
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	区域住民 (約16万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	区民のニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁施策との整合性をふまえながら、区役所と区民との協働による実行委員会等において、北区の特性に適合する様々なソフト事業を企画・立案する。 ・関係各局と協力して、区民のニーズに沿ったハード整備事業を実施する。(令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	有限会社南海ステージ、北区交流まつり実行委員会、北区自主防災会 等
10	公民連携・協働事業	イオンモール堺北花田店、各校区自治連合会

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	区民ニーズや区域の実情をふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進					
	当該目標を設定した理由	区民に最も身近な行政機関として、区域の実情をふまえた事業を行っているか測るため				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
	区民が主体的に関わる事業数	事業	目標値	-	5	5
			実績値	5	3	
			達成率	-	60%	
	当該指標を選定した理由	(令和3年度) 区がめざす「区民協働での地域共創」を実現するための事業を行っているか測るため				
目標値の設定根拠・算出方法	(令和3年度) 各所属において、区民が主体的に関わって実施した事業数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	区域まちづくり事業（北区）	事業番号	216-006
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			146,501	140,556	108,107	36,082	34,106
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	46,800	53,100	57,000	0	0
		その他（徴収金収入等（R2～））	99,607	87,400	367	366	213
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	94	56	50,740	35,716	33,893

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		各業務委託料	R3	予算	12,617	12,251	謝礼金	R3	予算	506	506
			R4	予算	13,400	13,187		R4	予算	512	512
		実行委員会負担金	R3	予算	12,066	12,066	印刷製本費	R3	予算	809	809
			R4	予算	11,536	11,536		R4	予算	484	484
		区域環境整備業務	R3	予算	3,203	3,203	通信運搬費	R3	予算	156	156
			R4	予算	3,000	3,000		R4	予算	198	198
		事業補助金	R3	予算	2,400	2,400	会計年度任用職員報酬	R3	予算	167	167
			R4	予算	2,400	2,400		R4	予算	181	181
		消耗品費	R3	予算	1,918	1,918	その他（電気使用料、その他保険料等）	R3	予算	2,240	2,240
			R4	予算	1,865	1,865		R4	予算	530	530

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R3まで	区民ニーズや区域の実情をふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進
16 R4	区民ニーズや区域の実情をふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進
R5以降	区民ニーズや区域の実情をふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<p>区民ニーズなどを踏まえながら、主体的に区域の特色に応じた事業を実施する。これまで実施している区民参加・区民協働による事業をさらに発展させ取り組んでいくなど、より一層、区が区域の特色に応じた事業を実施するために予算を要求するもの。</p>
------------	---

区域まちづくり事業(北区)

	事業名	事業概要	金額(千円)
1	北区交流まつり事業	北区に住み・働く人々が集い、相互に連帯感を強め、まちづくり意識の高揚を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に交流まつりを開催する。 北区15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージ・子どもコーナー・各種団体出展コーナーの展示などを行う。	5,894
2	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に絵本を配布することで、絵本の読み聞かせのきっかけづくりを促進する。	1,290
3	北区子育てフェスタ事業	主に区域の子どもや子育て世帯を対象に、区の子育て支援施策・制度を広く周知するとともに、就学前児童や小学生のいる世帯が孤立することなく子育てができるよう、地域で活動している各種団体やみんなの子育てひろば等との多様な交流を促進し、保護者自身の学びや育ちの支援も行う。	1,470
4	ようきた(北)ね！子育て三ツ星プラン	「子どもが輝く・保護者が輝く・地域が輝く」三つの輝く星をイメージし、子育てしやすい北区をつくるための各種事業を展開する。	978
5	やんぐ★るーきーず	若年で出産した母を対象にして、交流会や学習会を実施する。季節行事や軽作業を実施しながら、親子の交流を深め、母親同士も交流を図る。若年で出産した母親が、社会で孤立せず、自立していきいきと楽しく育児ができることをめざす。	344
6	堺市北区地域子どもの居場所づくり支援事業	地域における子どもたちが放課後等に、自主学習や遊び体験などを通じて、気軽に安心して過ごせる居場所をつくる事業に要する経費を支援することにより、地域で子どもたちが健やかに育つ環境を整備することを目的として、補助金を交付する。	2,400
7	北区安全安心のまちづくり事業	地域や警察等関係機関と連携しながら、犯罪や交通事故の発生を抑止し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	566
8	北区自主防災推進事業	「自助」「共助」及び地域活動に参加することの重要性について認識を深めるとともに、自主防災組織の支援や備蓄資機材の充実を図り、防災意識の高揚に努める。	4,916

区域まちづくり事業(北区)

	事業名	事業概要	金額(千円)
9	北区区民活動支援コーナー等運営事業	幅広い分野の区民活動の支援並びに区民活動に関する情報収集及び発信等を通じて、北区における区民活動を活性化させるとともに、活動の場の提供による区民の生きがいづくりに資する。 また、北区在住・在学の中学・高校生に対し、学習の場を提供することにより、自主学習の推進を図る。	9,970
10	(仮称)魅力発掘・発信・創出事業	北区インスタグラムやピアッツァなど、既存するコンテンツを活かし、集約した北区の魅力素材に、地域の声を加味し、区の魅力やブランドイメージを高め、区民や北区に関わりのある方(関係人口)を中心に、北区への愛着を深めていただく、また、北区を知らない区外の方向けに北区の魅力を発掘・発信する。	1,143
11	美化推進事業	環境美化意識の高揚と北区における美化活動及び地域の連携を推進するため、北区自治連合協議会が各校区で一斉に清掃活動を実施するとともに、不法投棄防止についての環境美化啓発活動を行う。	135
12	区域まちづくり推進事業	区民ニーズに柔軟に対応するため、年度途中に必要となった新規事業を実施する。	2,000
13	区域環境整備事業	年度途中に発生する区域の環境整備等にかかる事案について所管課に対応を依頼し、実施することでより一層住民ニーズに則したきめ細かなまちづくりを推進する。	3,000
		合 計	34,106

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域安全推進事業 (北区)		事業番号	216-008
担当部署名	北区役所	局	部	自治推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5. 強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(5) 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	
		有	取組の方向性	①防犯環境の整備				
	寄与するKPI	有・無	指標名	大阪重点犯罪認知件数				
		有	現状値	1,195件(2019年度)	目標値	900件(2025年度)		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(6)平和と公正をすべての人に	ターゲット	16.1		
		有	取組	防犯カメラや防犯灯の戦略的な設置				
	寄与するKPI	有・無	指標名	大阪重点犯罪認知件数				
		有	現状値	1,195件(2019年度)	目標値	1,100件(2023年)		
2	関連計画							
3	事業開始年度		平成 12 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例 堺市暴力団排除条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	北区民 (約16万人)、各校区自治連合会 (北区内15団体) 等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	すべての市民にとって犯罪のない安心して暮らせる良好な地域社会の実現をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮)堺市自治会活動推進補助金 (統合) を通じて地域の防犯灯・防犯カメラ設置を推進。 ・区の防犯環境を考慮し、警察署と連携・協議のうえ、防犯カメラの戦略的な整備を推進。 ・区内の公設防犯カメラの運用。 ○自主防犯活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯協議会への事業補助や、自主防犯パトロール団体への防犯資機材等の支給、青色防犯パトロール活動費用や車両の安全運行に係る機器設置の補助等を実施。 ○広報啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページ等で各種防犯情報を発信し、警察や関係団体と連携して防犯キャンペーン等を実施。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区自治連合会、防犯協議会、青色防犯パトロール団体等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
	北区における大阪重点犯罪認知件数	件		令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和7年度
			目標値	176	151	142	139	
			実績値	155	143			
		達成率	112%	105%				
	当該指標を選定した理由	大阪重点犯罪認知件数は、堺市基本計画2025及び堺市SDGs未来都市計画のKPI数値となっており、当数値の減少は、犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度において、新たに指標を設定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
	戦略的防犯カメラ設置台数	台		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			目標値	20	29	12		
			実績値	20	29			
		達成率	100%	100%				
	当該指標を選定した理由	防犯環境整備に重要であるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	北区における戦略的防犯カメラ新規設置数						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	地域安全推進事業 (北区)	事業番号	216-008
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位: 千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			10,908	10,838	12,959	17,021	8,054
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	10,908	10,838	12,959	17,021	8,054

事業費の内訳

(単位: 千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	R4				R3	R4		
		防犯カメラ設置事業補助金	R3	予算	4,200	4,200	青色防犯パトロール活動補助金	R3	予算	840	840
			R4	予算	(仮) 堺市自治会活動統合補助金にて要求			R4	予算	840	840
		防犯灯設置事業補助金	R3	予算	4,120	4,120	戦略的公設防犯カメラ電気料金	R3	予算	145	145
			R4	予算	(仮) 堺市自治会活動統合補助金にて要求			R4	予算	231	231
		戦略的公設防犯カメラリース料	R3	予算	3,191	3,191	市政協力謝礼金 (夜警)	R3	予算	80	80
			R4	予算	4,772	4,772		R4	予算	80	80
		小・中学校公設防犯カメラリース料	R3	予算	2,333	2,333	戦略的公設防犯カメラ電柱使用料	R3	予算	49	49
			R4	予算	事務集約により市民協働課に移行			R4	予算	77	77
		防犯事業補助金	R3	予算	2,034	2,034	防犯資機材	R3	予算	29	29
			R4	予算	2,025	2,034		R4	予算	29	29

債務負担行為

(単位: 千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> 「堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例」施行。(平成21年9月) 警察署と連携・協議のうえ、公設防犯カメラの戦略的な整備を推進。(令和2年度～) 各種防犯事業について、警察・地域と協働で継続的な取組を実施。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 警察署と連携・協議のうえ、公設防犯カメラの戦略的な整備(3年目)を実施。 防犯灯・防犯カメラ設置補助について、制度の見直し ((仮) 堺市自治会活動統合補助金) を予定。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民、事業者、警察などと連携・協働しながら、各種防犯活動を推進する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○公設防犯カメラの戦略的な整備(3か年事業)の3年目となる。令和3年度に引き続き、警察と本市が連携・協議しながら取り組む。 ○防犯灯・防犯カメラ設置補助について、「(仮) 堺市自治会活動統合補助金」に統合して予算要求を行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自治会活動推進事業 (北区)		事業番号	216-011
担当部署名	北区役所	局	部	自治推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(5) 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①防犯環境の整備			
			有・無	指標名	大阪重点犯罪認知件数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(7)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.17	
			有	取組	地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 51 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市自治会活動推進補助金交付要綱等		
事業の概要				
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	自治会活動を推進している団体		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	自治会活動をはじめとする地域活動を支援することにより、地域の結束力の強化を図り、市民参加・市民協働による明るく住みよい、安全な地域コミュニティの形成や、住民相互の共助による災害に強い地域社会の実現に向けた各種取組の活性化を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> 堺市自治連合協議会と連携し、自治会活動のより一層の振興・充実を図るため、校区自治連合会に対して補助金等による支援を実施し、安心して自治会活動を行える環境整備を推進。 犯罪のない安心して暮らせる良好な地域社会を実現するために防犯灯の電気料金支援金を支出。 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市自治連合協議会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	/	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				目標値	70	51	51	51
				実績値	51	51		
自治会加入率		%		達成率	73%	100%		
当該指標を選定した理由		自治会組織への加入率は、市民協働・市民参加による地域活動の活性化をはかる客観的な指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法		前年度の加入率を維持						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	/	実績	実績見込み	目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				目標値	15	15	15	
				実績値	14	15		
自治会会員の増強に資する事業実施校区数		回		達成率	93%	100%		
当該指標を選定した理由		校区における会員増強のための活動が、自治会加入率につながるため						
目標値の設定根拠・算出方法		自治会加入率の維持のため各校区1回は実施するもの						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	自治会活動推進事業（北区）	事業番号	216-011
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
		41,240	41,261	44,210	47,221	62,408
13 財 源 内 訳	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	41,240	41,261	44,210	47,221	62,408

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費			
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源		
14	(仮) 自治会活動推進補助金 (統合)	R3	予算	0	0	その他	R3	予算	48	48
		R4	予算	37,002	37,002		R4	予算	201	201
	自治会活動推進補助金 (区協議会)	R3	予算	513	513		R3	予算		
		R4	予算	513	513		R4	予算		
	認定防犯灯電気料金支援金	R3	予算	24,485	24,485		R3	予算		
		R4	予算	24,156	24,156		R4	予算		
	自治会施設賠償責任保険補助金	R3	予算	402	402		R3	予算		
		R4	予算	402	402		R4	予算		
	委託料	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	134	134		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R3まで	自治会活動推進補助金交付要綱の制定（平成3年度）
16 R4	既存の自治会活動に対する複数の補助制度を統合し、「(仮) 自治会活動推進補助金 (統合)」として創設予定
R5以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<p>自治会の負担軽減と制度の簡素化や、地域の実情に応じて自治会が活動しやすい環境を創出することを目的に、既存の自治会活動に対する複数の補助制度を統合し、1つの補助制度「(仮) 自治会活動推進補助金 (統合)」の創設を予定。</p> <p>(背景)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動や安全安心に関する支援施策の多くは、校区単位の個別補助制度で実施されており、申請期間や補助要件等がそれぞれ制度ごとに異なるため、事務手続きの煩雑性が地域の負担感につながっている。 ・また、犯罪傾向や災害リスク等の地域の実情に違いがあるため、それらに応じた校区ごとの取組にも軽重が生じている。 ・このため、細分化された個別の補助制度では弾力性が乏しく、多様化する地域ニーズに対応していくことが困難になってきている。
------------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計	要求区分	その他	
	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	介護予防普及啓発事業（北区）	事業番号	216-013
担当部署名	北区役所 局 北保健福祉総合センター 部	北保健センター	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の取組の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
		寄与するKPI	有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
2	関連計画	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
		有	取組	地域包括ケアシステムの推進			
3	事業開始年度	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画					
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	要介護等認定を受けた高齢者のうち非該当と決定された者等 (令和2年度：193名)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態への悪化防止や状態の改善を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	保健センターの看護師が要介護認定の非該当高齢者等の居宅を訪問するなど、生活における問題を総合的に把握・評価し、必要な相談・指導を実施する。主に認知症、閉じこもり、うつのある高齢者に対して訪問する。訪問により、認知症予防、運動機能向上、口腔機能向上、低栄養の防止を目的とした指導助言を行う。一般高齢者ならびに要介護状態の予防に効果が認められる対象者については複合型介護予防教室につなげる。複合型介護予防教室参加者のうち要介護状態に陥る可能性がある参加者への個別支援を実施している。教室修了者には、OB会の立ち上げを促したり、OB会の活動支援を継続して実施している。OB会の立ち上げ希望がないときは、自主グループに参加するよう案内している。OB会の活動が定着すれば、北区健康づくり推進委員会への参加を促し、健康づくり推進委員として、家族や周りの人に、健康づくり、介護予防の大切さについて伝えていく役割を担うよう、育成している。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績	実績見込み	目標	目標
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
				目標値	170	170	150
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				目標値	290	290	270
11	被訪問延人数	実績値	128	120			
		達成率	75%	71%			
	当該指標を選定した理由	訪問により、要介護状態予防のための日常生活上のアドバイスを提案し、介護予防、健康寿命の延伸を図る。(R2年度と同様に、コロナ禍で感染症拡大防止の観点から訪問指導が例年通りには実施できなかった)					
	目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍前の実績をもとに算出					
12	複合型介護予防教室参加延人数	単位	人	実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				目標値	290	290	270
12	当該指標を選定した理由	教室に継続的に参加することでフレイル状態に陥らないようにする。(R2年度と同様に、コロナ禍で感染症拡大防止の観点から予定していた教室が開催できなかった)					
		目標値の設定根拠・算出方法 R3年度実績見込みをもとに算出。目標 定員15人×6回=90人 90人×3クール=270人。					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	介護予防普及啓発事業（北区）	事業番号	216-013
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			2,366	2,341	3,014	3,104	3,011
		国支出金	606	614	790	785	791
		府支出金	300	300	380	393	380
		市債	0	0	0	0	0
		その他（被保険者保険料）	649	649	821	849	822
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	811	778	1,023	1,077	1,018

事業費の内訳

（単位：千円）

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		会計年度任用職員報酬	R3	予算	2,364	820		R3	予算		
			R4	予算	2,282	771		R4	予算		
		費用弁償	R3	予算	181	63		R3	予算		
			R4	予算	179	61		R4	予算		
		期末手当（会計年度職員等）	R3	予算	494	171		R3	予算		
			R4	予算	485	164		R4	予算		
		消耗品費	R3	予算	65	23		R3	予算		
			R4	予算	65	22		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	令和2年度から、コロナ禍で訪問件数は減少しているものの、電話相談や面接で対象者の支援をしている。また、OB会の活動支援は継続実施している。感染防止対策を徹底した教室運営を工夫し、実践することで、高齢者の要介護状態の悪化の防止や状態の改善を図り、健康寿命の延伸へつなげる。
	R4	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、訪問での支援を増加させていく。また必要時には複合型介護予防教室への参加を促し、健康増進の大切さを認識してもらい、教室終了後はOB会につなげ継続的に取り組めるよう支援していく。
	R5以降	令和4年度の状況を踏まえながら、訪問での認知症予防、運動機能向上、口腔機能向上、低栄養の防止を目的とした指導助言を徹底していく。また必要時には複合型介護予防教室への参加を促し、健康増進の大切さを認識してもらい、教室終了後はOB会につなげ継続的に取り組めるよう支援していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>コロナ禍での長期化する自粛生活等の影響によるフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）は喫緊の健康課題といえる。</p> <p>高齢者のフレイル予防には、住み慣れた地域で健やかに自分らしく生活し家族や友人、地域の人とともに支えあうことが不可欠である。このことから、訪問による支援と併せて、様々な専門職（保健師、管理栄養士、歯科衛生士、リハビリ専門職等）が連携した複合型の介護予防教室を実施することで、地域とともに、高齢者の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸に寄与していく。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康都市づくり関連事業 (北区)		事業番号	216-014
担当部署名	北区役所	局	北保健福祉総合センター	部
			北保健センター	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ~Well-being~	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現	
		有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		
		有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画		健康さかい21 (第2次) 2019-2023計画、堺市食育推進計画 (第3次)、堺市歯科口腔保健推進計画 (第2次)					
3	事業開始年度		平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		健康増進法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	北区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	北区民 (159,523人[令和2年9月1日時点])
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	啓発や情報提供等のイベントを通じて、市民の主体的な健康づくり意識を育成し、健康の保持増進や生活習慣病の予防を図り、健康寿命の延伸をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	市民を対象に、屋外だけでなく在宅でも取り組めるような運動や健康関連についての啓発、情報提供を実施する。市民が生活習慣病に関心を持ち、主体的な取り組みができるように、がん検診などの健康チェック、運動、栄養、歯と口の健康、アルコールなどの健康関連についての啓発や情報提供を実施する。内容は、市民の健康づくり自主活動グループなどの協力をいただくことで、市民目線で分かりやすい内容となるように工夫する。また、新型コロナウイルス感染症などの感染状況による影響を最小限とするため、リモートによる事業実施も含め、持続可能かつ感染対策を徹底した体制での実施とする。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	北区健康のつどい実行委員会
10	公民連携・協働事業	近畿中央呼吸器センターとの連携によるがん検診の啓発事業

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
	北区健康のつどい参加者数	人		令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和7年度
			目標値	(中止)	150	150	180	
			実績値	(中止)	125			
達成率	-	83%						
当該指標を選定した理由		効果的な啓発により参加者が生活習慣病に関心を高め、その後の意識、行動変容へつながることが期待されるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染症など感染対策を重視し、規模を縮小。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
	協力団体数 (自主活動グループ等)	団体		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			目標値	(中止)	8	8		
			実績値	(中止)	8			
達成率	-	100%						
当該指標を選定した理由		同じ区民からの働きかけにより、啓発の内容がより分かりやすく身近に感じることができ、成果につながる。						
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染症など感染対策を重視し、規模を縮小。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	健康都市づくり関連事業 (北区)	事業番号	216-014
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位: 千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			596	648	0	650	650
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他 (堺市民健康生きがいづくり基金)	500	600	0	600	600
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	96	48	0	50	50

事業費の内訳

(単位: 千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		保健センターまつり負担金	R3	予算	650	50		R3	予算		
			R4	予算	650	50		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為

(単位: 千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	令和3年度はコロナ禍のため北区交流まつりは中止となった。しかし長引く外出自粛等により市民の健康状態の悪化や生活習慣病の乱れが危惧され、健康増進の機会が必要と考える。このことから感染防止対策を徹底した上で、健康のつどいを単独実施する。
	R4	北区交流まつりが開催される場合は、より多くの住民への啓発という視点から同時開催とする。また、交流まつりが開催されなかった場合は、地域住民ボランティアグループとの協働した健康増進事業の重要性から北保健センターの単独開催とする。
	R5以降	北区健康のつどい実行委員会規約に示される「北区在住の住民が、生きがいを持ち、豊かで充実した暮らしづくりの実現のため、健康の重要性を共に考え、住民自らが心と体の健康づくりに主体的に取り組んでいく」契機となるイベントを開催する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>コロナ禍での受診、受療控えや長期化する自粛生活等の影響による市民の健康状態の悪化や、生活習慣の乱れは喫緊の健康課題といえる。</p> <p>その中で、北区住民の成人および高齢者が、健康の重要性を認識し、自らの心と体の健康づくりを主体的に取り組むことが求められる。</p> <p>北区健康のつどいでは、感染防止対策を徹底した上で、成人期、高齢期をターゲットに「正しい健康情報の提供」や「健診受診勧奨」等を参加型健康増進イベントとして、住民ボランティアグループと協働し実施していく。</p>
----	---------	--